

各位

上場会社名 株式会社ヒガシマル
 代表者 代表取締役社長 東 紘一郎
 (コード番号 2058)
 問合せ先責任者 管理部長 上野 善博
 (TEL 099-273-3859)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月4日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,107	149	224	93	19.97
今回発表予想(B)	8,192	197	246	85	18.19
増減額(B-A)	84	48	21	△8	
増減率(%)	1.0	32.3	9.7	△8.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	8,879	65	71	△92	△19.76

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,859	210	309	177	37.72
今回発表予想(B)	7,958	269	390	△293	△62.46
増減額(B-A)	98	59	80	△471	
増減率(%)	1.3	28.1	26.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	8,702	234	382	196	41.86

修正の理由

当連結会計年度の業績は、第2四半期累計期間の状況を踏まえ、鮮魚市況低迷による生産調整及び赤潮被害などによりハマチやマダイなどの飼育尾数が減少するとして、昨年11月4日に公表しました業績修正の通りの推移を辿り、売上高は84百万円(1.0%)の増収、営業利益は、商品種類別の集約生産による原価率の低減を図った結果、48百万円(32.3%)の増益、経常利益は21百万円(9.7%)の増益、当期純利益は、法人税等が予想より増加した結果、8百万円(8.9%)の減益となる見込みであります。

個別の業績につきましては、連結業績と同様の理由により、売上高は98百万円(1.3%)の増収、営業利益は59百万円(28.1%)の増益、経常利益は80百万円(26.1%)の増益となる見込みであります。ベトナムの子会社は、サブプライムローン問題に端を発した世界同時不況やその後の資源価格の高騰及び相次いで実施された通貨(ベトナムドン)切り下げなどの影響により、営業赤字を計上していることから、子会社投資に係る減損会計を適用して投資損失3億33百万円と銀行借入金に対する債務保証損失引当金繰入額1億88百万円を特別損失に計上することとしたことから、当期純損失は2億93百万円(前回予想値は当期純利益1億77百万円)となる見込みであります。

※業績予想につきましては、発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって異なる場合があります。

以上